

無所属 西東京市議会議員

# 森てるおの なんでもりポート 第42号



2008年1月発行（隔月発行） 定期購読料：年間1,000円（送料含む）  
編集：森てるお事務所 発行：森てるおと市民の目 西東京市中町2-8-13-102  
電話：042-439-7023 FAX：042-439-7024

## 報酬問題と小金井ごみ問題

議員の報酬値上げ問題、小金井ごみ問題。いずれも市民の皆さんが動き出し、大きな盛り上がりを見せ始めてきました。

報酬問題では、「拡声器号外」を配布したり、マスコミが取り上げたりしても、なかなか多くの市民が知るまでには至っていませんでした。しかし、反対する市民の動きが表面化し、反対運動への参加の呼びかけが広がりを見せ始める中で、徐々に事実が市民の中に浸透し始めています。拡声器36号の配布がその一役を買っているものと考えています。

理由も、説明もない報酬値上げの撤回に向けて、市民の皆さんの力に期待します。

\* \* \* \* \*

「自分たちが出したごみは自分たちの地域で処理する」というのがごみ処理の原則です。小金井市がその原則を放棄して、ごみを周辺自治体に丸投げしている「小金井ごみ問題」では、2月に開く小金井現地集会に向けて、武蔵小金井駅南口で駅頭宣伝を行ないました。ごみ問題に対する小金井市民の意識は三多摩で最も高いほうです。しかし、計画もなく焼却場の廃止を決めた小金井市議会、市外に丸投げし他市住民に迷惑をかけることを「合法」と言い張って10年間の基本計画にまで盛り込んだ小金井市行政の対応はお粗末、厚顔無恥といわざるを得ません。

いま、住宅地周辺に焼却場を作ることに周辺住民の合意が得られる時代ではありません。早期解決の方法は、小金井市が焼却しない対策に踏み切ることです。小金井市がどんな選択をするにしても、有料化で減量を求められている西東京市民にとって、丸投げされた小金井市のごみを引き受ける義理も道理もありません。小金井市民の奮起に期待します。

## ポスティングの効果

年4回、議会報告として「森てるおの拡声器」を発行し、毎号7万部をお届けしています。そのうち3万部近くは多くの皆さんのご協力によってお届けできています。配布が進むにつれて、いろんな反応が返ってきます。その反応で配布された地域がわかり、「ああ、〇〇さんが配って下さったんだなあ」と気づくことができます。

電話、FAX、メール、郵便などで返ってくる反応の中には好意的なものもあれば、反対意見もあります。できるだけ丁寧な対応をさせていただいています。時には森てるおの活動を快く思わない人からのものも届きます。それらのほとんどは偽名や匿名ですね。連絡先の記載もありません。議論できないのが残念です。

駅頭での報告活動の時にも感じるのですが、多くの皆さんが情報を求めておられることは間違いありません。「拡声器」の配布がそれに応えていることもまた間違いありません。市民が事実を知ったときにはじめて、行政はよりましな方向に動いていきます。

より早く、より確実に市民に事実を知らせるために、今以上に多くの方がポスティングにご協力くださることを願っています。「協力するよ」とのお申し出をお待ちします。

## 新春交流会、盛会でした

1月13日の新春交流会には50名ものご参加をいただきました。ありがとうございます。はじめて参加された方が多くおられたにも関わらず、相互にご交流いただけた様子にほっとしています。

会場セッティングのどたばたに始まって、行き届かない点が多々あったかと思えます。それらは反省点として、次回以降に改善してまいります。

お召し上がりいただいた料理等は前日から手作りで用意しました。今年上出来だった干し柿ですが、皆さんにお持ち帰りいただける数量はとてありませんでしたので、柿なますにしてお召し上がりいただきました。ハム、ベーコンは朝出来上がったばかりのものでした。メインのおでんは味がしみていたと思います。ナムルやその他の野菜料理は直前に作りました。一品持って行き忘れたのが心残りでした。毎回ご好評いただいている玄米のお赤飯は今回もお喜びいただけました。

寒い時期、暗くなるのも早いのでご参加を見送られた方も多かったようです。今年は夏の時期にも交流会を開けないか検討してみます。

皆さんの元気をいただきましたので、今年も精一杯努力していきます。ありがとうございます。

## 生ごみ処理の実験



今年からのごみ収集有料化に備えて、年末に指定ゴミ袋を買いに行かれたほとんどの市民の皆さんから、あまりの高さに唖然としたといった感想をいただきました。3サイズ2種類のゴミ袋の値段は合計で2,600円。プラスチックは週一回、40リットルは必要です。燃えるごみも一回に20リットルと考えると、ゴミ袋代は年間8,000円かかります。

「だから減量しろ！」というのが行政の言い分だから乱暴な話です。

自衛策として簡単にできる生ごみの処理方法を実験しています。基材（腐葉土やおがくずなど）を入れた容器で発酵し、水と炭酸ガスに分解し消滅処理をしようというものです。好気性の発酵を利用するので、基材が適度に乾燥している必要があります。先日、雨に当ててしまったところ、基材が一部、粘土状になってしまいました。空気が通らないと嫌気性発酵になりますので、堆肥のような匂いが出てきます。やり直しをして、良好な結果が出ればあらためてご報告します。

## ◎森てるおの活動記録（2007年11～12月）

※主なものを掲載しています。

- 11月2日 青嵐中改築記念式典
- 3日 小金井「ごみ講演会」：スタッフ会議
- 5日 インタビュー「議員の仕事」
- 11日 市民自治井戸端会議
- 12日 建設環境委員会視察（～13日）
- 15日 道路訴訟打ち合わせ
- 16日 給食現場視察（調布市）
- 18日 「西東京市の大気汚染と健康被害」
- 21日 12月議会議案説明
- 22日 都市計画審議会
- 23日 「軍隊を考えてみる」
- 24日 市民のひろば（～25日）
- 27日 道路訴訟  
駅頭宣伝（拡声器号外～12月25日）
- 28日 議会運営委員会

- 12月3日 12月議会開会（～19日）  
「号外」印刷上がり・引取り
- 4日 一般質問（～7日）
- 9日 市民自治井戸端会議
- 10日 常任・特別委員会（～14日）
- 15日 小金井ごみ集会実行委員会
- 16日 「松葉PAHs環境調査報告会」
- 20日 土地開発公社評議員会
- 22日 報酬問題駅頭宣伝  
守ろう平和憲法キャンドル集会
- 25日 プラスチック処理施設見学会
- 26日 ポスティング（～31日）
- 28日 「拡声器36号」引き取り